

5月の活動報告

15日（日） 森のミニコンサート

会長 石渡 信之

今回の森のコンサートは、以前行われていた「こんぶくろ池」に場所を戻して森のミニコンサートとして開催しました。これは「こんぶくろ池」の水位確保・水質改善のため

- ① 破損していた浄化槽を柏市「カシニワ」の助成金を得て強固な本設として新設
- ② 有機物の堆積が進んだ「こんぶくろ池」のみおぼえ実施（およそ50年ぶり）
- ③ 隣設用水路への漏水防止（みおぼえで発生したヘドロの土嚢詰めおよび再利用）

上記3点を実施し、池の姿を以前の形に少し近づけられました。2005年5月15日号（平成17年）の柏市広報第1面全面を使い、「こんぶくろ池」整備計画およびNPOの前身であるボランティア募集を発表する旨の記事が記載され、その時使用された写真に近いものがあると思います。

昨年までのコンサートは広い芝生のある『てづくり広場』で、流通経済大学付属高校吹奏楽部等による演奏を行いました。今回は整備された「こんぶくろ池」を多くの人に知って貰いたく、池端に演奏舞台を仮



設し、伐採杉材を有効利用したベンチを並べ、フルート演奏をしていただいた小早川さんのお話の通り、以前行われていた場所に戻って開催いたしました。来年についてはどのような形で開催するか今後検討をしていきます。

なお、2年連続で出演していただいた流通経済大学付属高校吹奏楽部へは、岡本さんに協力辞退の挨拶に行っていただいております。前置きが長くなりましたがイベント実施における裏方をお伝えしました。



さて、コンサート当日は天候にも恵まれおよそ250名の皆さんにお集まりいただきました。新緑の木陰で聞く4組の皆さんの演奏には、すばらしいものがありました。思いのほか演奏の音が良く通り、小鳥の伴奏が入ったり表通りのトラックなどの騒音も時折耳につきましたが、それぞれの演者の方が魅力的な音楽を奏でいただきました。目を閉じてじっと聞き入っている会員の姿もありました。



和田さんの東風笛：確かに小鳥のさえずりに聞こえました。別の曲では、夜の池で聞くと違った趣を味わえるかも知れません。

ジョージ・トモさんによるサクソ、キーボード、ベース：どの音色も不思議に緑の中で違和感がなく、こんぶくろ池の景色になじんでいたように思います。東風笛の和田さんは体がスウィグして楽しんでいました。

オカリナアンサンブル：結構遠くまで音が通ってよく聞こえました。独奏部分をもう少し多く聞きたかったと思います。

小早川さんフルート：アンコールをお願いしてしまいました。トークも面白くこれからの出演もお願いできそうです。

私自身も十分楽しませていただきました。また会員の皆様、事前準備と当日の役割ご協力ありがとうございました。駐車場係りの金子ご夫妻達は演奏が聴けなかったと思います。ご苦勞様でした。



イラスト：宮尾知子さん作